



APOE 遺伝子検査 の すすめ

認知症のリスクを知って
予防しましょう。

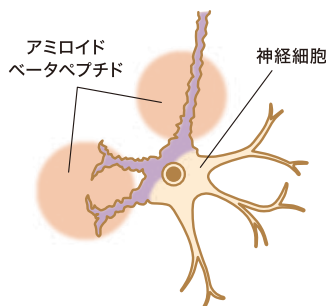
65歳以上の認知症患者数が、
2025年には約700万人(約5人に1人)に増加の予測

* 出典：厚生労働省 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)

APOE遺伝子と アルツハイマー型認知症 の関係



- アルツハイマー型認知症（アルツハイマー病）は、アミロイドベータペプチドという老廃物が脳に蓄積し、神経細胞に障害を与えることが原因で発症することがわかっています。



- アミロイドベータペプチドの蓄積や凝集に関わる物質のひとつが、**アポリポタンパク質E**です。
それを司る ^{アポイー}**APOE 遺伝子**には、主に ϵ (_{イシ})2、 ϵ 3、 ϵ 4の3種類あり、2つ一組で遺伝子型を構成しています。

- ϵ 4の有無とアルツハイマー病発症との関係を調べると、 ϵ 4を全く持たない遺伝子型に対して、 ϵ 4を1つないし2つ持っている遺伝子型のアルツハイマー病発症リスクは、右表の通り約3倍～12倍高くなると言われています。

■APOE ϵ 4によるアルツハイマー病発症への影響*

遺伝子型	リスク(倍)
$\epsilon 2 / \epsilon 3$	0.6
$\epsilon 3 / \epsilon 3$	1.0
$\epsilon 2 / \epsilon 4$ 、 $\epsilon 3 / \epsilon 4$	3.2
$\epsilon 4 / \epsilon 4$	11.6

* 出典：Hsiung, G.Y., Sadovnick, A.D.,
Alzheimers Dement. 2007より改変



APOE 遺伝子検査とは？

- あなたの持っているAPOE 遺伝子型を調べ、アルツハイマー病発症リスクを知り予防に繋げるのが、APOE 遺伝子検査です。
- 検査を受けるには、医療機関で5 mLの採血をしてください。
- 検査結果は医療機関から受け取ります。(2～3週間後)

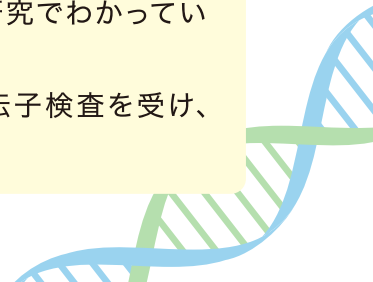


APOE 遺伝子検査はアルツハイマー病の発症のリスクを調べるものであり、将来の発症の有無を判定するものではありません。またε4 遺伝子型があったとしても、必ずしもアルツハイマー病を発症するわけではありません。

アルツハイマー病の発症は遺伝的要因以外に加齢や生活習慣なども関係しています。また、糖尿病や高血圧がアルツハイマー病のリスク因子と言われています。

生活習慣の改善など適切な予防を行えば、アルツハイマー病の発症を防ぐことや遅らせることができると最近の研究でわかっています。

アルツハイマー病発症と関係の深いAPOE 遺伝子検査を受け、リスクを知り予防に繋がしましょう。



- 本検査は医療機関での採血が必要です。検査をご希望の方は検査内容をご理解・ご同意いただいた上で、
病院・クリニック・健診センターなどでお申込みください。
- 本検査は健康保険の適用外ですので、
健康診断と同様に自費となります。
検査料は医療機関にお問い合わせください。
- その他検査についての詳細は、
下記お問い合わせ先へご連絡ください。



〈問い合わせ先〉

株式会社 MCBI

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-14-7 光ビル4F

TEL 03-5772-1486

MAIL info@mcbi.co.jp

WEB <https://mcbi.co.jp>